

平成29年 教育委員会第8回定例会 会議録

日 時 平成29年5月9日（火）

午後3時02分～午後3時41分

場 所 教育委員会室

議事日程

第 1 議案

【指導課】

（１）『議案第18号』千代田区いじめ防止基本方針の改訂

（２）『議案第19号』学校健全育成サポートチーム等設置規則の一部を改正する規則

第 2 報告

【子ども支援課】

（１）幼稚園・こども園の在籍状況（平成29年5月1日現在）

【児童・家庭支援センター】

（１）学童クラブ在籍状況（平成29年5月1日現在）

【学務課】

（１）平成29年度学級編制（平成29年5月1日現在）

（２）学校保健会総会の開催

第 3 その他

【子ども総務課】

（１）教育委員会行事予定表

（２）広報千代田（5月20日号）掲載事項

出席委員（4名）

教育委員長	中川 典子
教育委員長職務代理者	古川 紀子
教育委員	金丸 精孝
教育長	島崎 友四郎

出席職員（10名）

子ども部長	大矢 栄一
教育担当部長	小川 賢太郎
子ども総務課長事務取扱 子ども部参事	安田 昌一
副参事（特命担当）	大井 良彦
子ども支援課長	加藤 伸昭
子育て推進課長	土谷 吉夫
児童・家庭支援センター所長	新井 玉江

子ども施設課長	小池 正敏
学務課長	柳 晃一
指導課長	杉浦 伸一

欠席委員（０名）

欠席職員（０名）

書記（２名）

子ども総務係長	村松 紀彦
子ども総務係員	松村 秀一

中川委員長	開会に先立ち、本日、傍聴者から傍聴申請があり、傍聴を許可していることをご報告しておきます。 ただいまから平成29年教育委員会第8回定例会を開会します。 本日、欠席はありません。 今回の署名委員は金丸委員にお願いいたします。
金丸委員	はい、わかりました。

◎日程第１ 議案

指導課

- （１）『議案第18号』千代田区いじめ防止基本方針の改訂
- （２）『議案第19号』学校健全育成サポートチーム等設置規則の一部を改正する規則

中川委員長	日程第１、議案に入ります。 議案第18号、千代田区いじめ防止基本方針の改訂について、指導課長より説明をお願いいたします。
指導課長	千代田区いじめ防止基本方針の改訂についてご説明申し上げます。 昨年度末に、いじめに関する国の方針の改訂を受けまして、本区におきましても、その内容を反映させた改訂を行ったものでございます。 この改訂のポイントにつきましては、いじめは重大な人権侵害であり、いじめを見逃さないための姿勢を強化し、いじめが生まれる背景には、発達障害、帰国子女など、さまざまあることを明記しました。 また、早期発見のためのさまざまな手だてや、いじめ防止等のためのさまざまな取り組みや機関をより実効的なものにするために、いじめ問題対策委員会や学校健全育成サポートチームを本方針にしっかりと位置づけました。 また、これらの機関を、いじめの状況に応じてどのように有機的に機能させるかなどの、手順をつけ加えました。さらに、これらの調査結果をどのように評価し、解決に導いていくかなども記しています。

	これらの一連の改訂につきましては、前回、前々回の教育委員会でもご協議いただき、その間、メール等で何度もご意見をいただくなどのやりとりをさせていただきました。さらに、この件に関しまして、二度、三度、委員の皆様にご足労願ひまして、協議を行ってまいりました。文言修正及び内容がぶれないようなさまざまな意見調整、校正を行っていただき、現在に至ったものでございます。 ご議決のほどよろしくお願いいたします。 説明が終わりました。 この件に関しまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。よろしいですか。
中川委員長	
	(な し)
中川委員長	それでは、議案第18号について採決します。 賛成の方は挙手願ひます。
	(賛成者挙手)
中川委員長	全員賛成につき、議案第18号を決定することとします。 次に、議案第19号、学校健全育成サポートチーム等設置規則の一部を改正する規則について、指導課長より説明をお願いいたします。
指導課長	学校健全育成サポートチーム等設置規則の一部を改正する規則についてご説明申し上げます。 この規則につきましても、先ほどの千代田区いじめ防止基本方針の改訂を受けまして、その中に位置づけました健全育成サポートチームが、さらにこの改定を受けまして、有効的、実効的に機能するための流れを示したものでございます。 議案第19号の資料にございますように、改正後、改正前、主につけ加えた内容が多くございますが、このような形で規則の一部改正を行ったものでございます。 ご議決よろしくお願いいたします。 説明が終わりました。 ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
中川委員長	
金丸委員	特にございません。
中川委員長	はい。特にないようですので、議案第19号について採決します。 賛成の方は挙手願ひます。
	(賛成者挙手)
中川委員長	全員賛成につき、議案第19号を決定することとします。

◎日程第2 報告

子ども支援課

(1) 幼稚園・こども園の在籍状況(平成29年5月1日現在)

児童・家庭支援センター

(1) 学童クラブ在籍状況(平成29年5月1日現在)

学務課

(1) 平成29年度学級編制（平成29年5月1日現在）

(2) 学校保健会総会の開催

中川委員長	日程第2、報告に入ります。 報告に入りますが、児童・家庭支援センター所長と学務課長が、他の公務で、この後途中退席するため、両課からの報告事項を先に行いたいと思います。 まず、学童クラブ在籍状況について、児童・家庭支援センター所長より報告をお願いいたします。
児童・家庭支援センター所長	平成29年度学童クラブ学年別在籍状況でございますが、4月1日時点を前々回の教育委員会でご報告させていただきました。そこから1カ月たった5月1日時点でございます。 全体で5名ほどふえております。内訳といたしましては、バラバラですが、神田児童館、四番町児童館、九段小アフタースクール、富士見わんぱく、またグローバルキッズ等でふえているのと、また、いずみ学童クラブ、西神田で、1名ずつ引っ越し等で減りまして、合計で975名の増加となりました。 説明は以上です。
中川委員長	報告が終わりました。 ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。 金丸委員。
金丸委員	1点だけ。今、975名の増加とおっしゃいましたけど、そうではなくて、4月1日付で931名だったものが975名になったと。増加人数としては、これの差し引きの44名が増加したというふうに読んでよろしいのでしょうか。
児童・家庭支援センター所長	すみません。在籍人数ですけれども、在籍人数で言いますと、4月1日の時点の在籍人数は、ここにはちょっと載っておりませんで、970でございます。すみません、ここに載せればよかったのですが。
金丸委員	そうすると5名の増加ということになると。
児童・家庭支援センター所長	はい。
中川委員長	ほかはよろしいですか。 (なし)
中川委員長	それでは、特にないようですので、次に移りたいと思います。 次に、平成29年度学級編制（平成29年5月1日現在）について、学務課長より報告をお願いいたします
学務課長	それでは、平成29年度学級編制（5月1日現在）につきまして、ご報告申し上げます。 29年度の学級編制につきましては、前々回の教育委員会におきまして、4月7日現在の学級編制、児童・生徒数をご報告させていただきました。このたびは、5月1日現在のものをご報告させていただきますけれども、5月1

中川委員長

日現在といいますのは、例年、国の調査、学校基本調査の基準日でございますして、その5月1日現在の数字がまとまりましたので、ご報告させていただくものでございます。

4月7日現在と特に学級編制上の変わりはありません。若干、それ以降、転校・転入ということで、数字の動きがございましたけれども、基本的に学級編制上の動きはございませんでした。

詳細なご説明については省略させていただきたいと思います。

ご報告は以上でございます。

報告が終わりました。

この件に関しまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

金丸委員。

金丸委員

すみません。1点教えてください。この表の中の小学校の部の「千代田小学校【固定学級】」という、8名というものがありますよね。その横をずっと見ていくと、計の(2)に比べて、総計は14になっていますね。右側の数字と左側の数字というのはどういう関係になるのでしょうか。

学務課長

すみません。説明をしないと、わかりづらいところでございました。この括弧というのは、子どもの数でございまして、この最後の「(14)」は14名いるということでございまして、こちらの固定学級につきましては、学級編制上、ちょっと見づらいのですが、学級数の下に、ここだけ8名とありまして、8名で1学級ということをあらわしているものでございます。

結果、千代田小学校の固定学級、こちらは、学級数のところでございますが、(2)と書いてありますが、2学級あるという意味で、それ以降のそれぞれ学年ごとの括弧の数字は、これは人数でございます。ちょっとわかりづらくて申しわけなかったと思います。

中学校におきまして同じく、4名いる中で、学級編制上、8名で1クラスということでございますので、1学級の学級編制となるということでございます。

金丸委員

学務課長

この8名というのは、定員数という意味で理解すればよろしいのですか。

定員数というよりも、学級編制上の数です。学年は関係なく、8名の児童生徒に対して1学級という形。

金丸委員

学務課長

わかりました。だから、9名になれば2学級になるということですね。

そういうことになります。言葉足らずで、失礼いたしました。

中川委員長

よろしいですか。

金丸委員

はい。

中川委員長

ほかはいかがでしょうか。

(なし)

中川委員長

それでは、次に移りたいと思います。

次に、学校保健会総会の開催について、学務課長より報告をお願いいたします。

学 務 課 長	それでは、平成29年度千代田区学校保健会総会の開催についてお知らせを申し上げます。
	委員の皆様におかれましては、先ほど開催通知をお手元にお配りさせていただいておりますけれども、今年度の総会につきましては、こちらの資料にもございますとおり、6月8日木曜日、午後2時から4時までということで、例年同様、いきいきプラザ一番町「カスケードホール」で行わせていただきます。
	参加者、来賓等はこちらに記載のとおりでございますが、例年のとおり、次第等を進めてまいるわけでございますが、議事のところをごらんになっていただきたいと思います。議事につきましても、例年どおり行わせていただく予定となっておりますが、このたび、会則の改正を予定してございます。資料をめくりましますけれども、こちらのほう、このたび部会の再編、見直しをさせていただくこととなりました。
	趣旨としましては、子どもの保健教育や保健管理について、乳幼児から高校生まで通して調査研究をするため、現在の千代田区立小・中・中等教育学校・幼稚園に千代田区立の保育園も加えた組織とさせていただきたいと思っております。
	そのため、新たに新組織のところにございますように、保育園職員部会というものを設けさせていただくことといたしました。また、学校保健主任部会、学校給食主任部会につきましては、活動内容が、これまでの養護教諭部会、栄養教諭・学校栄養職員部会と重複する部分がございますために、見直しをさせていただきまして、今年度、平成29年度から、学校保健主任部会、<u>学校給食主任部会</u>については削除いたします。そういった部会の見直しに伴う会則の改正をお諮りするものです。
	そして、この議事後の講演でございますけれども、今回のテーマにつきましては、昨年の総会におきまして、来場されました保護者の皆様方からのリクエスト、アンケートの中から拾い出したものでございまして、特にスマホの関係について大変関心があるというようなお話もございましたので「スマホの使用と子どもの心の発達への影響」というテーマで、講師をお願いしているところでございます。
	説明は以上でございます。
中川委員長	説明が終わりました。
	ご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。よろしいですか。
金 丸 委 員	結構です。
中川委員長	この講演については、やっぱりみんな、どの保護者も知っておいたほうがいいことだと思うので、大体この会というのは、各校PTAに割り当てがあって、その人たちが参加することが多いようなことが実情ですけれども、できればもう少し広いところに声をかけて、いろいろな人に参加していただくようにしたらいかかと思いますが。
学 務 課 長	ご指摘ありがとうございます。毎回、講演のテーマについては評判がよく

中川委員長
学務課長
中川委員長
学務課長

て、いろいろな人に聞いてもらいたかったというお話をこれまでもいただい
てございました。そういった中、できれば数多くの方にご出席賜りたいとい
うところでございますが、学校保健会という中で、どうしても対象が保護
者、PTAの方になってしまうところもございまして……

もちろん保護者でいいのですけれども。

保護者の中でも、もっともっと来てほしいということですね。

ええ。

はい。そういった意味では、あす校園長会がございますけれども、その中
でも、この件につきましては、ご報告する際にそういった呼びかけをしてい
ただけるようお願いしてまいりたいと思います。

中川委員長
学務課長

もしいっぱいになってしまうようだったら、先に希望者を募るというよう
なこととかも考えられるのではないかと思いますのですけれども。

そうですね。そのような状況になれば、大変ありがたいところです。事前
の申し込みとか、そういったことも検討しなければならないと認識しており
ます。

中川委員長

よろしくお願いします。

ほかはよろしいですか

(な し)

中川委員長
子ども支援課長

では、次に、幼稚園・こども園の在籍状況（平成29年5月1日現在）につ
いて、子ども支援課長より報告をお願いいたします。

これも前々回の教育委員会のほうに出させていただいたものでございま
すが、それを4月1日から5月1日に更新したものでございます。

幼稚園の部分、5月1日現在、上の表でございますが、学級数につきまし
ては変更ございませんが、園児数につきましては、4月の時点と比べます
と、8名の増となっております。

合計の計の欄に3つありますが、その一番上の696でございまして、4月
の時点では688名でございましたので、プラスの8名の増。その内訳です
が、短時間が7名、長時間が1名の増でございました。

4月の異動で、転出入が当然ありますので、その増減で、転入された方
が多かったという結果でございました。4月1日転入されて、その後、幼稚
園に入りたいという方が多かったという結果でございます。

保育園につきましても、5月1日現在で1,154名、合計の計の欄、一番下
のところでございますが、そちらのほうをごらんいただければと思います。
こちらにつきましては、4月1日と比べまして、11名の増となっております。

説明は以上でございます。

中川委員長

説明が終わりました。

この件に関しまして、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたしま
す。

いかがですか。よろしいですか。

(な し)

中川委員長 それでは、次に移りたいと思います。

◎日程第3 その他

子ども総務課

(1) 教育委員会行事予定表

(2) 広報千代田(5月20日号)掲載事項

中川委員長 次に、日程第3、その他に入ります。

子ども総務課長 子ども総務課長より報告をお願いいたします。

子ども総務課長 それでは、教育委員会行事予定表でございます。

子ども総務課長 本日5月9日から5月23日まで、そして5月24日から6月13日までの行事の予定につきまして、こちらのほうでまとめさせていただいたものでございます。

中川委員長 こちらにつきまして、ご説明は以上でございます。

子ども総務課長 はい。次も続けてください。

子ども総務課長 続きまして、広報千代田(5月20日号)掲載予定の一覧でございます。

子ども総務課長 こちらにつきまして、文化振興課並びに生涯学習・スポーツ課につきましても、あわせてこちらのほうに掲載してございます。

中川委員長 ご説明は以上でございます。

中川委員長 はい。ありがとうございました。

中川委員長 この掲載予定のほうと、教育委員会行事予定と、何かありますか。よろしいですか。

(な し)

中川委員長 それでは、ご意見、ご質問等はないようですので、その他の報告に入りたいと思います。

子ども総務課長 その他の報告で、各課長さんから何かありましたらお願いいたします。

子ども総務課長 先日4月29日でございますが、内閣府から春の叙勲の受章者が発表されました。既にご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、千代田区から推薦いたしました元麴町中学校校長で、教育委員会委員長などを歴任されました近藤明義氏が、このたび、教育功労者として瑞宝双光章の受章が決定いたしました。このことにつきまして、情報提供としてご報告をさせていただきます。

中川委員長 以上でございます。

中川委員長 ありがとうございます。

中川委員長 その他はいかがでしょうか。

中川委員長 教育委員のほうから何かありましたらお願いいたします。

金丸委員 1点よろしいでしょうか。ここ、前回からの間にあった新聞報道の中で、ちょっと気になったものが4点ありました。

金丸委員 1つは、都立高校の6割が、いわゆる地毛証明というものを出させている

中川委員長

ということが記事に載っていましたが、九段中等教育学校では、そういう証明書を出させているのかどうか、ちょっと確認したいなというふうに思った点が1点目でございます。

地毛を染めているかどうかということですね。

ではその先をお願いします。

金丸委員

それから次は、少し前に私が申し上げましたが、医療的ケア児の問題に関して、練馬区、世田谷区、葛飾区あたりが、実際に対応を始めてきているということを伺いました。今、千代田区の現状では必要ないでしょうけれども、そういう児童がいたときに、すぐに対応できるような検討は始めたほうがいいのではないかと考えたのが2点目でございます。

3点目は、保育園の連絡帳にかわって、連絡帳アプリというものが最近出てきて、それを公立の保育園でも使っているところが出始めているという新聞記事がございました。もし今すでに千代田区が使っていれば、それはそれでいいのですが、そうでないとすると、やはりこれの有効性があるのかどうかも含めて検討する必要があるのではないかというふうに思いました。

それから、最後の4つ目は、子どもの貧困対策の問題ですけれども、既に自治体が無料で勉強をサポートするという形で始めている、もしくは始めようとしている自治体が7割以上になってきているということですが、千代田区の場合は、例えば麹町中でも神田一橋中でも、いわゆる放課後の学習教室みたいなものはございますよね。それがこれに該当するのかどうか。小学校でも同じような形で該当するものができているのかどうか、この点も教えていただけるとありがたいと思っています。

中川委員長

では、一つずつ、確認していきましょうか。

都立高校で地毛の検査をしているかどうかということについては。

指導課長

九段中等教育学校では、地毛証明はとっておりません。

中川委員長

そうですか。

医療ケアについては、子ども支援課長。

子ども支援課長

今のところ、確かに千代田区の中で、保育園、またこども園のほうで医療的ケアが必要なお子さんといったところについては、いらっしゃるというところがまず1つございます。

ただ、このところ、そうした報道も目にしておりますし、厚労省のほうも受け入れるような形をとれないかという要請もありますので、どこまでできるのかといったところについては、ちょっと検討していかなければならないと思っています。

もう1点は、医療的ケアまで、例えばのどを切開して、たんを吸引しなければいけないようなお子さんたちだったりとか、ということだと思いますが、区としての対応策として、保育の場合考えているのは、居宅訪問型保育で、保育士ではなくて看護師さんを派遣するというやり方もあるのだろうと思っています。なので、看護師さんだったらその資格でたんの吸引のほうもできますので、そういった形でのケア、保育士とどういうふうにまぜてやっ

ていくのかといったところは、いろいろ考えていかなければいけないのですが、保育の場合はそういったことが1つできるかなと思っています。

それと、その次の保育園のほうの連絡帳のアプリでございます。今、結構大きい電話機器のメーカーだったり、就職でいろいろ無料の冊子を配って、名をはせている会社だったり、アプリはただで導入できますと、運営費もかかりません、ぜひどうぞという、売り込みも結構来ております。そちらについては、連絡帳の書く作業について、スマホで入力できて、それで保護者の方とやりとりができるという部分がありますので、保育士の労働時間、拘束時間を考えると、手書きよりはそちらのほうが、写真も撮れますし、それをアップロードして、今まで文字情報だけだったものが、写真も含めた形で、保護者の方に日ごろの状況の報告ができるということもあって、できなくはないと思っています。

ただ、個人情報保護の絡みと、あと、もし最悪なケースは、情報漏えいの可能性を考慮せざるを得ない部分があるかと思っていますので、その点をどういうふうクリアするのかというところで、庁内の必要な会議にかけていかなければいけないと思っています。

ただ、方向性としては、そういうことも考えて、保育士に係る事務の負担というものを軽減していきたいというふうに考えております。

トータルで考えますと、無料でできるのであればいいのかなといったところはありますが、データをどういうふうに使われるかというところの懸念もあるので、その辺はいろいろ、ほかの自治体の状況や今導入している保育園の状況等、いろいろ見させていただいて、導入するかどうかというところを検討したいなと思っております。

中川委員長

これに関しては、ただより高いものはないという言葉もあるように、ビッグデータ、今どこでどのように集められるかわからなくて、よくアンケートが来たりしますね。あれが結局は個人情報の集積につながっているところもあるので、やっぱり個人情報の問題ということが一番問題かなとは思いますが。

子ども支援課長

一応、内々には個人情報保護審議会の会長の方にも確認はさせていただいて、保護者の同意がとればいいのかというお話はあるのですが、あくまでもそれは一個人の見解でございまして、公立でやっているというところがあるとお話を今いただいたので、その自治体について、どういうふうに対応されているのかということも情報収集させていただきたいなと思っております。

中川委員長
教 育 長

次の貧困対策は。

では、最後のは私のほうから。子どもの貧困対策については、法律上の体系で言うと、子どもの貧困対策推進法というものがありますが、生活困窮者自立支援法の中でも、学習支援については、各自治体の任意事業として位置づけられています。千代田区では、区が実績のあるNPO法人に委託し、三崎町にある社会福祉協議会のサロンを利用して実施されています。

中川委員長
指 導 課 長

それとは別に、現在、中学校で放課後の学習支援をやっています。学校でやっている放課後の学習支援は、対象を特に限定しているわけではなく、要望に応じてやっていますから、結果的に、学校でやっている放課後事業も、意味合いとしては、学習支援の一形態というふうに位置づけられる事業というふうに考えています。

ただ、国が今回調査で言っているような形での事業イコール学校でやっている放課後学習とは違うということでご理解いただければと思います。

都教委も、「地域未来塾」という事業をやっていて、千代田区の中学校でやっている放課後の学習支援が、「地域未来塾」としての支援対象に当たるかについて、今後検証することが必要と思っています。

指導課長。

あわせて補足させていただきますと、例えば予算的なものは全て、先日委員の皆様方にも、学校長より経営方針説明会でありましたように、放課後は、部活動と並行して、麹町中などは、放課後のさまざまな、カルチャースクール的なものも含めて、多様な講座を用意して、指導をしています。その中には、東大の学生などを講師として登用し、授業でわからなかったこととか、宿題がなかなか家ではできないというようなとき、わからないところを講師に聞きながら学習を進めるというようなシステムもございます。ですから、内容的には、そうした放課後のサポートと同じではございますが、形態や方針についてはもう少し調査をしまして、それと同等なものかどうかということは今後検証してまいります。

また、神田一橋中学校なども、ICT、タブレットパソコンを使って、放課後、補習学習、ドリル学習のようなものをやりながら、自分の能力に応じて、好きな学習ができるような講座が用意されております。

ただ、やはり部活動や塾に通っていらっしゃるような方も含めて、まだ盛況といえますか、そういった報告は受けておりませんので、今後子どもたちが意欲的にそうした講座に参加するような仕組み、仕掛けとその検証が必要だと考えております。

中川委員長

よろしいですか。

金 丸 委 員

金丸委員。

確かに管轄が違うという問題はあるでしょうけれども、私の感覚では、貧困対策だからこれをやりますというところに子どもたちを集めるよりも、広くみんなを集めたところでそういう対応をしてあげたほうが、子どもたちにとっても優しいのではないかというふうに思いますので、できればもう、学校のそういう学習の構造を中心的に、それに当てられるような形がとれたらいいのだらうなというふうに考えています。

中川委員長
教 育 長

教育長。

子どもの貧困対策については、学習支援と並行して、子ども食堂という形で、食事を提供する事業も実施されるようになっていきます。千代田区でも、学習支援の傍ら、NPO法人が子ども食堂的に、夕食を共にする事業を実施

中川委員長

しているところです。

よろしいですか。

ほかはいかがでしょうか。

(な し)

中川委員長

それでは、ほかには特にないようですので、以上をもって本日の定例会を閉会といたします。ありがとうございました。